

## 第6回岩澤コンファレンス「サステイナブル社会のための最先端触媒化学・表面科学」

### The 6<sup>th</sup> Iwasawa Conference on the Frontiers of Catalysis and Surface Science for Sustainable Society

【共催】 触媒学会「表面化学と触媒設計の融合研究会」

【協賛】 日本表面科学会, 大阪大学「グリーンナノマテリアル”ものづくり”イニシアティブ」

【趣旨】 岩澤コンファレンスは、触媒化学・表面科学の分野で多大な功績を残された岩澤康裕教授の東京大学定年退職を記念して、「サステイナブル社会のための最先端触媒化学・表面科学」を主たるテーマとして2009年より年1回開催しています。今回は、1日目は界面でのエネルギー変換、2日目は不均一系の触媒作用に関わるテーマで実施いたします。

日時： 2014年12月5日（金）13:00-17:50

12月6日（土）9:00-12:50

場所： 大阪大学豊中キャンパス基礎工学部J棟セミナー室(1F)

<http://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/access.html>

参加費： 研究会 無料, 懇親会 3,500円（当日）

申込方法：12月3日（水）までに、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無 を記載したメールを、下記連絡先宛てにお送りください。

#### プログラム

12月5日（金）13:00-18:00

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:40 室温イオン液体を用いた新規の電池材料と電池計測法の開発 桑畑 進（阪大院工）

13:40-14:15 ゼロソルベント電解質による次世代二次電池開発 松本 一（産総研関西センター）

14:15-14:50 軟X線吸収分光法による電気化学反応のオペランド観測 長坂将成（分子研）

14:50-15:20 電気二重層界面の溶液側の局所構造・電子状態の解析 福井賢一（阪大院基礎工）

15:20-15:35 休憩

15:35-16:10 TiO<sub>2</sub>単結晶電極表面の原子レベル局所構造と光水分解および競争的ホール消費プロセスへの影響 今西哲士（阪大院基礎工）

16:10-16:45 実験と計算シミュレーションによる固体高分子形燃料電池内部の反応分布  
犬飼潤治（山梨大燃料電池ナノ材料研究センター）

16:45-17:20 燃料電池のin-situ時間分解XAFS：劣化過程の触媒の挙動  
東 晃太郎（電通大燃料電池イノベーション研究センター）

17:20-17:55 理工学の夢ロードマップ2014からみた化学のフロンティアと課題  
岩澤康裕（電通大院情報理工）

18:00~20:00 懇親会（豊中キャンパス内）

12月6日（土）9:00-12:50

9:00-9:35 卑金属元素のナノ粒子化とサイズに依存した触媒作用の発現 一國伸之（千葉大院工）

9:35-10:10 企業における触媒プロセス開発～エチレンイミン製造～ 常木英昭（日本触媒）

10:10-10:45 Design and Applications of Plasmonic Nanocatalysts for Efficient H<sub>2</sub> Production from Ammonia Borane under Visible Light Irradiation 山下弘巳（阪大院工）

10:45-11:00 休憩

11:00-11:35 固体表面反応の第一原理シミュレーション 森川良忠（阪大院工）

11:35-12:10 コア-中空シェル構造を有する複合体の合成と触媒機能  
池田 茂（阪大太陽エネルギー化学研究センター）

12:10-12:45 固定化イオン液体触媒の開発と有機化学反応への応用 佐々木岳彦（東大院新領域）

12:45-12:50 閉会と次回開催予定

連絡先： 大阪大学大学院基礎工学研究科 福井賢一 E-mail: [kfukui@chem.es.osaka-u.ac.jp](mailto:kfukui@chem.es.osaka-u.ac.jp)